

特 集／町立図書館に行ってみよう
町政スポット／「地デジ対策 お宅は大丈夫?」、朝日町産ラ・フランスを
シンガポールに輸出、平成21年度決算報告 ほか
ま ち の 話 題／2010日本エコミュージアム研究会全国大会、
りんごの樹オーナー制収穫祈願祭 ほか

天高く広がる秋の「うろこ雲」

(10月29日／宮宿小持久走大会)

☐ ホームページに写真

広報 あさひまち

2010年11月号

No. 648

町立図書館に行ってみよう

近年、人々の日常生活に占める読書の時間は年々減少しており、若い年代では「活字離れ」の進行による読解力・言語力の低下が危惧されています。

今年は、「国民読書年」である（平成20年6月の国会決議）ほか、朝日町立図書館が現在の創遊館内に移転してから10周年の節目の年にあたります。今回の特集では、町立図書館や本について紹介します。

図書室から図書館へ 創遊館へ移転し10周年

朝日町立図書館は平成12年6月、創遊館の完成とともに開発センターから創遊館内に移転。このとき図書「室」から「館」となり、今年で開館10周年を迎えています。

移転当初は約2万4000冊だった蔵書も今や3万5000冊以上に上っています。山形県全体を見ても、町村部で「図書館」を有する町村は

未だに少なく、人口1万人未満で、ここまで充実した図書館を有するのは朝日町だけ。実感はないかもしれませんが、当町は実に恵まれた読書環境にあるのです。

**年間利用は約7000人
年間貸出しは約2万冊**

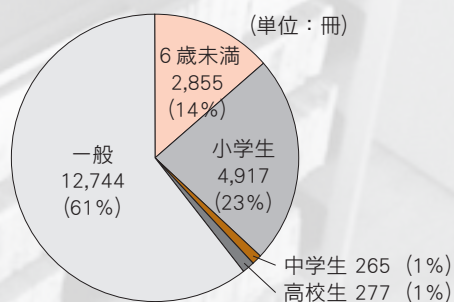
創遊館に移転して以降の利用状況を見てみると、人数は年間約7000人前後、貸出冊数は年間約

2万冊前後で推移。両者とも10年間ほぼ横ばいとなっています【グラフ1】。

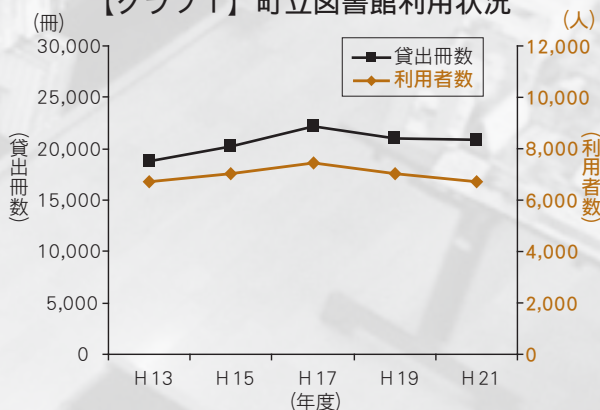
また、今年11月1日現在で利用者カードをお持ちの方は3626人で、その約1割（350人）が町外の方。内訳は寒河江市（92人）が最も多く、次いで大江町（67人）、山形市（57人）と続きます。多くは町内に勤務する方ですが、それ以外にも、充実した新刊、蔵書に魅かれて近隣の大江町、白鷹町、山辺町などから多くの方が訪れています。

参考までに、年代別の利用者を見てみると、昨年度の実績では約6割を一般の方が占め、小学生、幼児の順に続いているようです【グラフ2】。

【グラフ2】年代別貸出冊数（平成21年度）



【グラフ1】町立図書館利用状況



あさひまち図書館まつり 2010

町立図書館では、現在の図書館のオープン 10 周年と国民読書年にちなんで、皆様にもっと親しんでいただける図書館を目指して、このほど「あさひまち図書館まつり」を開催します。

▼ 11 月 27 日 (土)

「第一部 昔ばなしを聞こう」

【開演】 午後 1 時 30 分 【場所】 創遊館和室

【出演】 語りの会 つむぎ

「第二部 読み聞かせの実演と Q&A プラス」

— 初心者大歓迎の「読んでみましょう講座」—

【開演】 午後 2 時 20 分 【場所】 創遊館和室

【講師】 渡辺 裕子さんおはなしとつくってあそぼうの会、紙ふうせん代表／山形市

※申込みが必要です。託児もありますので、お子様も一緒にどうぞ。

▼ 11 月 28 日 (日)

「坂入姉妹のおはなし (朗読) コンサート」

【開演】 午後 2 時 【場所】 創遊館ホール

【対象】 幼児と保護者 400 人

【入場料】 無料 ※入場整理券が必要です。創遊館、西・北部公民館、子育て支援センターのいずれかでお受け取りください。

■坂入姉妹 (さかいりしまい)

姉・坂入恵と妹・真紀による童謡姉妹デュオ。ともに東京音楽大学音楽科卒業。全国各地で幼児や小学生などを対象にした童謡コンサート、おはなし (朗読) コンサート、音楽療法コンサートなどを展開している。



「古本プレゼント」

図書館の古本 (主に雑誌) を希望者に差し上げます

【場所】 創遊館ワークルーム

【時間】 午前 10 時～午後 4 時

▼ 12 月 4 日 (日)

「クリスマスこどものつどい」

【開演】 午前 10 時 30 分

【場所】 創遊館ワークルーム 1

【出演】 おはなし会ぶなの実 (朝日町)、人形劇団あ・い (東根市)、大道芸ポッキーマサ (山形市)

【内容】 人形劇やパネルシアターなど

▼ 問合せ先 あさひまち図書館まつり 2010

実行委員会 ☎ 6 7 - 2 1 1 8 (教育文化課)



毎月様々なテーマに沿った本を提案している「ブックテーマコーナー」。現在は図書館まつりに合わせ「朝日町にゆかりの郷土の作家」を特集し、約 200 冊を紹介しています。ぜひご利用ください。

**図書館は郷土史料の宝庫
数では測れない存在価値**

ところで、図書館の役割っていったい何でしょうか。

一般的には、新刊の収集および貸出しが第一。いわゆる「ベストセラー」や話題の本など、社会の風潮を捉えた本をそろえることがその役割です。

しかし、公立図書館の場合は郷土資料や行政資料の収集も特に重要な役割です。町立図書館には地域の自然、歴史、風土などに関する本及

び町ゆかりの方が著した本を集めた「郷土資料コーナー」があり、約 2700 冊が並んでいます。

また、町立図書館には「町史編さん室」や「NPO 法人朝日町エコミュージウム協会」の事務室も隣接しています。三者はいわば郷土に関する情報の宝庫であり、町民の多様な学習ニーズに対応しています。

図書館はこのほかにも、学生の勉強の場、絵本の読み聞かせの場としても利用されています。その意味で、「利用者」「冊数」といった「数値」だけでは図ることのできない存在価値が図書館にはあるのです。

**本を読めば新たな世界と
の出会いがあるはず**

「本は好きじゃないし、図書館なんて無縁……」こんな風に思っている方はいませんか。

図書館はそう思うほど遠い存在ではありません。蔵書の中には難しい文学作品もありますが、日々の生活に役立つ本や趣味の幅を広げる本、さらに新聞や雑誌もたくさんあります。その一冊一冊を読むたびに、新たな世界との出会いが待っているはずです。

11月3日は「文化の日」

この日図書館を訪れた方に、
図書館や本について伺いました。

絵本は毎晩読み聞かせ

【左】鈴木美穂子さん、【右】美空さん（太郎二）

図書館はほぼ2週間おきに利用しています。借りる本は絵本が中心で、2人の子どもに毎晩読み聞かせています。絵本コーナーは充実していて利用しやすいですね。

本の良さ、楽しさに気付いたのは、実は子育てするようになってから。親子の触れ合いの時間のほか、言葉の勉強にも役立っています。



静かな環境で集中して勉強

鈴木由優さん（四ノ沢）

図書館は主に休日、勉強に利用しています。静かで集中できる環境がいいですね。

本を借りることは少ないものの、勉強の気分転換のため、手に取ることはしばしば。リフレッシュのつもりが、時には時間を忘れて読みふけってしまうこともあります。

来年は受験生。今後も利用する予定です。



郷土資料コーナーを閲覧

堀文仁さん（四ノ沢）

約2年前、娘の小学校入学を機に実家に戻りました。高校以来約20年ぶりの朝日町暮らしですが、まだまだ知らないことがたくさんあると感じています。今日は文化祭の合間に立ち寄り、郷土資料コーナーの本を開いてみました。

朝日町は小さな町ですが、こうした文化的環境が整っている意義は大きいと思いますね。



「晴耕雨読」の日々

菅井俊雄さん（小原）

開発センター内にあった「図書室」時代から長らく「常連」として利用しています。小説を中心にいろんな種類の本を読みます。

晴れば「りんご作業」、雨が降れば「読書」。本は自分の好きな時間に読めるのがいいですね。まもなく90歳になりますが、まさに、「晴耕雨読」の日々です。



厳選推薦

一度読んでみたい町在住著名人の本

■阿部宗一郎さん（常盤）

大正12年（1923年）常盤生まれ。17歳で太平洋戦争に従軍し、敗戦後はシベリア抑留を経験。復員後は「株式会社朝日相扶製作所」を設立し、町民の出稼ぎ解消を図る。町芸術文化協議会会長をはじめとした町の各種協議会、審議会役員を長年務め、地方自治・産業・文化などあらゆる面で町の発展に尽力。齋藤茂吉文化賞（平成17年）など受賞歴多数。87歳。



「これから山村が面白い」
昭和63年（1988年）

町の産業・経済の活性化に向けた提言をまとめたもの。その内容は創刊から20年以上経過した現在でも色あせることのないものばかり。まちづくりに関わる方のみならず、必読の一冊。

■西澤信雄さん（西原）

昭和23年（1948年）、滋賀県生まれ。愛媛大学卒業。昭和50年、朝日町に移住し、朝日連峰の麓で「朝日鉱泉ナチュラリストの家」を経営。現在、(株)日本ネイチャーゲーム協会専務理事、環境省自然公園指導員、NPO法人朝日町エコミュージアム協会理事などを務める。62歳



「朝日連峰山だより」
昭和58年（1983年）

朝日鉱泉ナチュラリストの家の小屋番日記。朝日連峰の自然の豊かさや、訪れる登山者、地元の山菜採りの人たちとの心温まる交流をユーモアたっぷりに綴っている。

■姉崎一馬さん（立木）

昭和23年（1948年）、東京都生まれ。少年時代を北海道の札幌市郊外で過ごし、生物の世界に魅かれて写真を撮り始める。東京農業大学卒業後、自然写真家として全国の森林を歩く傍ら、平成7年に建てた立木地内の自宅で、都会の小中学生を対象にした「わらだやしき自然教室」を開催している。62歳。



「はるにれ」
昭和54年（1979年）

姉崎さんのデビュー作にして出世作。それまでになかった「写真絵本」というジャンルを確立した一冊。発行30年を過ぎた現在でも根強いファンが多く、売れ続けている。



詩集
「神ニモマケズ」
平成15年（2003年）

風刺を通して人間の姿を洞察し、社会や文明、現代人のおごりを鋭く突いた詩集。「第3回山形県詩人会賞（平成15年）」、「第20回真壁仁野の文化賞（平成16年）」の各賞を受賞。



「ブナの森通信」
朝日連峰山小屋からの報告
平成21年（2009年）

朝日新聞山形版で2000年2月から月1回10年間、合計100回連載した「ブナの森通信」を一冊の本にまとめたネイチャーエッセイ集。山に出入りする人にぜひ読んでほしい一冊。



「はっぱじゃないよ ぼくがいる」
平成18年（2006年）

穴のあいた葉っぱを顔に見立てた写真絵本。「第53回（平成19年度）青少年読書感想文全国コンクール」課題図書。一昨年のYTS山形ふるさとCM大賞作品はこの本からヒントを得て作られた。

■いずれの本も町立図書館にありますので、ぜひ一度ご覧ください

町出身童話作家

最上一平さんに「ひろすけ童話賞」



「泣いた赤おに」や「りゅうの目のなみだ」などの作品で知られる高島町出身の童話作家・故浜田広介氏。同氏の功績をたたえ、優れた童話作品を表彰する「ひろすけ童話賞」の今年度の受賞作品に、町出身の童話作家最上一平さんの「じぶんの木」が選ばれました。

「ひろすけ童話賞」は、愛と善意に満ちた同氏の文学精神の継承と新しい幼年童話の世界を開くため平成元年度に設定されたもので、今年で21回目。今年の出品は70作で、山形県関係（出身・在住）の受賞は最上さんで2人目となります。

主催は「ひろすけ童話賞委員会（委員長＝寒河江信高島町長）」。選考は「同賞選考委員会（委員長＝天沼春樹日本児童文芸家協会常任理事）」。

受賞記念インタビュー

「ひろすけ童話賞」受賞
おめでとうございます。

「ありがとうございます。郷土の大先輩の名を冠した賞をいただき大変光栄です。」

私が小学校5年生のときの学芸会で、6年生が『泣いた赤おに』を演じました。

劇の最後に赤おにが『青おにくーん、青おにくーん』と叫ぶと、私は感動して体が震えました。今思い返せば、それが私にとって文学

作品との出会いだったように思います。浜田先生とはずっと細かい糸でつながっていたのかもしれないですね」

「『じぶんの木』で描いたのはどういう世界ですか？」

「人生には必ずいつか『死』という別れのときが訪れます。しかし誰がこの世を去っても、残された家族や友人の心中には様々な思い出が残っているはず。『じぶんの木』は人生の幸せな別れ方を描いた作品。大自然を舞台にしたお年寄りや子どものやりとりを通じて、両者の温かな関係や命のつながりを考えました」

「童話作家になるまでの道のりを教えてください。」

「私は高校を卒業するとすぐに上京し、出版関係の仕事に就きました。そこで出会った一人の同僚が私の人生を

最上一平さんのプロフィール

昭和32年(1957年)朝日町上郷(宇津野)生まれ。本名＝村山一郎。宮宿中学校卒業後、上山農業高校を経て上京。童話作家を目指していた会社の同僚との出会いをきっかけに、同じ道を目指すことを決意。アルバイト生活を送りながら、児童文学を学んだ。

昭和59年(1984年)、デビュー作の「銀のうさぎ」で日本児童文学者協会新人賞を受賞。平成13年(2001年)には、「ぬくい山のきつね」で日本児童文学者協会賞、新美南吉児童文学賞を受賞。さらに、昨年発表した「じぶんの木」がこのほど「ひろすけ童話賞」を受賞した。

東京都羽村市に奥さん、大学生の1男、一女と4人で暮らす。53歳。

■いずれの本も町立図書館にありますので、ぜひ一度ご覧ください



(2000年11月)

「ぬくい山のきつね」

人々のあたり前の暮らしの中にあるみずみずしいドラマをまとめた6編の短編集。
表題作「ぬくい山のきつね」は、夫に先立たれた一人暮らしのお婆さんのところへ、きつねが亡き夫に化けてやってくる物語。



最新刊
(2010年9月)

「ちよんまげくらのすけ」

さむらいに憧れる小学生のくらのすけは大事な役目をまかされて、村じゅうの家をまわることになった。難しい「口上」のあいさつを何度も練習し、ちよんまげもりしく、いざ出発！ある小さな集落のおはなし。



ひろすけ童話賞を受賞した

「じぶんの木」
(2009年12月)

山あいの村で暮らす唯一の小學生「わたる」が主人公。一番の友人である93歳の曾祖父「伝じい」から、人は皆、生まれるとどこかに「じぶんの木」が芽生え、その木は人が死んだあとにも生き続けることを教えられたわたるが、「伝じい」の死後も大朝日のどこかにある「伝じい」の木とともに生きていく物語。

作家で日本児童文芸家協会常任理事を務める天沼春樹ひろすけ童話選考委員長は「最上さんの作品はこれまでも何度か最終候補にリストアップされていたが、『じぶんの木』は魂の深いところから響いてくる作品。物語の世界が永遠の生命へと回歸していく時の連鎖を感じさせてくれた」と評しています。

厳選2冊 おすすめ！最上一平さんの本

変えました。彼は当時会社に勤めながら児童文学を学んでいて、私は彼と話をするうちにその魅力にどんどん引き込まれていきました。私はその後会社を退職し、アルバイトしながら、月数回、今でいう「カルチャースクール」のような学校に通い児童文学を学びました。27歳のときに、それまで書きためていたものをまとめた「銀のうさぎ」を発表。今日まで執筆活動が続けていますが、どちらかと言えば遅筆の方。これまで出した本は30数冊程度ですね

―最上さんの作品には、朝日町に関連する固有名詞がたくさん登場しますね。

のは、いろんな風景や生活の中から聞こえてくる声に耳を傾けることなんです」

―「お年寄りと子ども」という設定も多いですね。

「最近は都市部を中心に、お年寄りの『居場所』がなくなっているように思います。そんな中、畑仕事や地域活動に従事する朝日町のお年寄りはいつも輝いているように見えます。

お年寄りの何気ない日常の中には温かいドラマを感じます。子どもとふれあいを通じて、そうした姿に光があたるような心がけています」

―今年は町立図書館が新しくなって10周年。読書や本について一言お願いします。

「実は、私はあまり本を読まない子どもでした。少年時代の私にとっては、野山を

駆け巡ることが読書がわり。季節の移ろいを五感で感じた経験が私の作品の原点になっているようです。

読書は確かに大切だと思いますが、町で育つ子どもたちには、自然の中でたくさん遊ぶこと、それに自分の好きな本を一冊でいいから持つことをすすめたいですね」

―最後に朝日町の方々にメッセージをお願いします。

「メッセージをいただいているのは私の方です。正月やお盆に実家に帰省して、ぬくい山を見るだけで『お帰りのなさい』と言われているような気分になりますし、ふるさとの人々とのふれあいのできづかされること、物語の種になるようなことがたくさんあります。朝日町には本当に感謝するばかりですが、今後とも応援よろしくお願いします」

地デジ対策

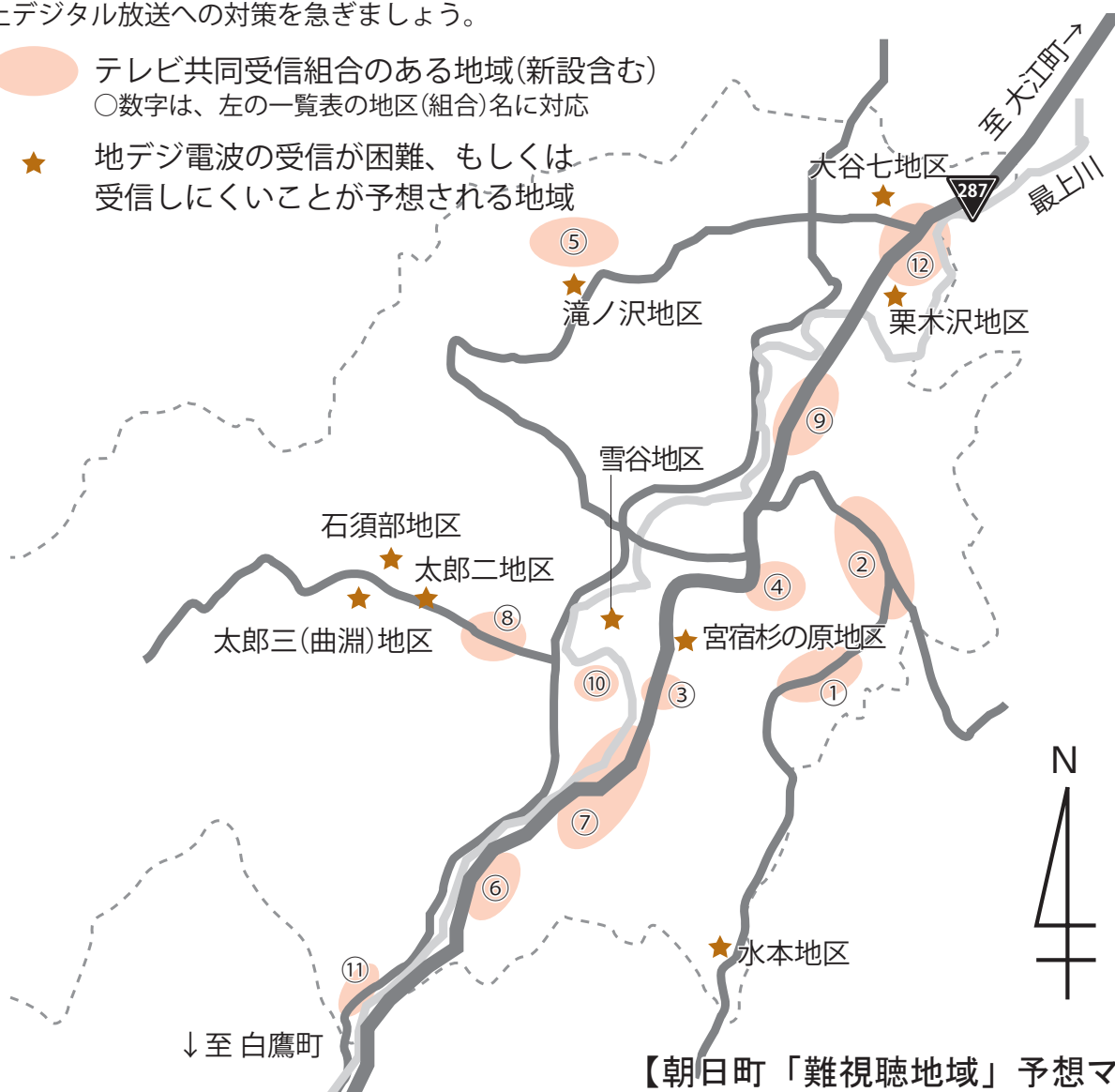
電波の受信はOK？



今、見ているテレビの上下に、「黒い帯」が映っていませんか？
テレビのスイッチを入れると、画面の右上に「アナログ」の文字
が映っていませんか？また、現在のアンテナで地デジの電波を受
信できますか？

来年7月の地デジ完全移行まで、およそ9ヵ月となりました。
地上デジタル放送への対策を急ぎましょう。

- テレビ共同受信組合のある地域(新設含む)
○ 数字は、左の一覧表の地区(組合)名に対応
- ★ 地デジ電波の受信が困難、もしくは
受信しにくいことが予想される地域



【朝日町「難視聴地域」予想マップ】

難視聴地域の多い朝日町 「共同受信施設」で対応

大小さまざまな山に囲まれた朝日町には、家庭用アンテナではテレビを視聴できない地域が多く存在しています。そういった地域では、複数の世帯が少しずつお金を出し合って「テレビ共同受信組合」を設立し、受信環境を整えています。その数は11月1日現在で12組合（※）、受益戸数は300世帯以上に上り、町全体の約8分の1を占めています。ほとんどの地域では、すでにアンテナの改修工事を終え、来年7月の地デジ完全移行に備えています。

（※）設立の際、町が補助を行った共同受信組合の数。このほか、任意の団体もあると推測。

地デジは「映る」か 「映らない」か

これまでのアナログ放送では、電波が弱くなるのに比例して受信画質が徐々に悪くなりました。一方、地

上デジタル放送では、電波が低下しても画質は変わらないものの、電波の強さがある値を下回ると全く受信できなくなります。つまり、地上デジタル放送の電波の特徴は「映る」か「映らないか」に分かれるため、アナログ波では何とかが見えていても、デジタルでは見えない地域が発生しているのです。

町では、こうした電波の特徴を踏まえ、平成19年度から各種調査を通じて難視聴地域の把握に努めてきました。その結果、これまでアナログ波は受信できていた地域でも、デジタル波を受信できない「新たな難視聴地域」が発生していることがわかり、それぞれの地域で説明会を行ってきました。地域によっては、新たな共同受信組合を立ち上げ、地デジへ備えを進めています。

アナログ停波まで9カ月 受信環境を確認ください

来年7月の地デジ完全移行まで、およそ9カ月となりました。今回の誌面では、調査の結果地デジ電波の

【テレビ共同受信組合一覧】

（平成22年11月1日現在 政策推進課まとめ）

NO	地区(組合)名	地デジ化改修年度	受益戸数	備考
①	下芦沢	19	24	
②	古槇・送橋	20	61	
③	大滝	20	24	
④	新宿・前田沢	20	21	
⑤	大暮山	20	25	
⑥	杉山	21	26	
⑦	上郷	21	75	
⑧	新崩	22	15	
⑨	和合	22	40	新設
⑩	赤釜	22	7	
⑪	大淀	22	4	
⑫	真中・舟渡	23	検討中	新設
	計		322	

※このほか「中沢」「大隅」が設立に向け、準備および検討中です。

受信が困難、もしくは受信しにくいことが予想される地域を★印で示しています（すでに説明会を開催している地域を除く）。これらの地域にお住まいの方は、確実に視聴できるか、早めを確認をお願いします。（役場政策推進課で確認用の地デジチューナーを無料で貸し出しています）

家庭Ⅱゼロをめざして広報活動を行っています。地デジに関して不安があれば何でもご相談ください。

▼問合せ先

政策推進課地域情報係

☎ 67-2112

総務省地デジコールセンター

☎ 0570-07-0101

（ナビダイヤル）

町では、来年（2011年）7月に地上デジタル放送が視聴できない

朝日町産「ラ・フランス」をシンガポールに輸出

りんごに続く農産物の海外輸出

台湾やタイなどの東アジア地域に対し、積極的にりんごの輸出を進めている当町。このほどりんごに続いて、ラ・フランスのシンガポール輸出が正式に決定しました。関係者は「第一印象」と言える大事な初年度の成功に向け、現在慌ただしく準備を進めています。

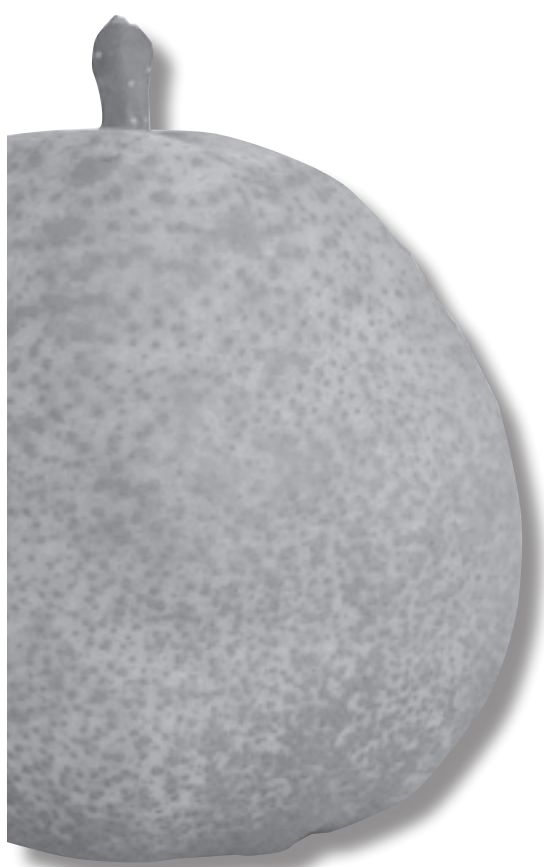
町では平成16年度からりんごの輸出事業を進めていますが、昨年

度タイに対し、初めて試験的にラ・フランスを輸出。食べ頃の時期に店頭に並ぶよう出荷時期を調整したところ、現地で大変好評を得たことから、「朝日町西洋なし組合（阿部為吉代表／90人）」では今年度、本格的に輸出に乗り出すことを決めました。

輸出先をシンガポールに選んだ最大の理由は、シンガポールにはまだ日本産のラ・フランスが流通

していないこと。シンガポールでは、主にフランス産の西洋なしが販売されていますが、日本産に比べると、味はいま一つ。9月に現地を訪問し、実情を視察した町産業振興課三浦浩一課長補佐は「食べ頃のものを試食していただければ、りんごと同様、確実に現地の方々の心をつかむことができるはず」と自信をのぞかせています。

「今年は初年度ということもあり、量もまだ数百キロ単位です。とにかく食べていただき、他国産のものとの違いを味わっていただきたいですね。まずは来年度以降の足掛かりとして位置付けています」と話す関係者。今後12月半ばには当町産のりんごとともに、シンガポール最大の百貨店である高島屋で2週間、キャンペーンを開催することが決定。生産者・JA担当者・町担当者が現地に赴き、試食販売を行います。



新規学卒就業者に激励金を交付

「第5次朝日町総合発展計画」の柱に掲げる「産業力」を推進するため、町ではこのほど、平成20年4月以降町内に就職・就農した新規学卒者9人に対して激励金（一人）3万円を交付しました。

平成20年4月から新規就農し、園地で交付を受けた菅井勇輝さん（沼向）は、「まだまだ未熟ですが、消費者から喜ばれるおいしいくだものづくりに励んでいきます」と話してくれました。



処理費用も税金 ダメ！ポイ捨て！

不法投棄防止巡回パトロール



10月6日村山地区不法投棄防止対策協議会及び町衛生組合連合会（以下「町衛連」）による巡回パトロールが実施されました。町衛連役員など20人が国道沿いの駐車帯などを巡回し、約2時間で軽トラック一台分のごみを回収しました。

町衛連では、啓発看板や不法投棄防止ネットの設置など対策を講じていますが、不法投棄は後を絶たず、また、野焼きなどの生活環境上の苦情も増え、モラルの低下が懸念されています。

今後、監視カメラの設置を県に要望するとともに、不法投棄及び野焼き防止対策に関しては町の重点取組として、啓発活動を推進していく予定です。

来年4月着工、再来年2月完成予定

宮宿小学校屋内運動場改築事業



老朽化に伴い、改築計画が進められている宮宿小学校体育館について、このほど基本設計がまとまりました。

その主な内容は、主体構造を鉄筋コンクリートとする1階建ての建物で、延べ床面積は現在の約2倍となる約1200㎡を予定（ほぼ大谷小体育館と同じ）。ミーティング室や更衣室、スポーツ用具庫を配置しているほか、暖房については遠赤外線型（灯油）を採用する予定です。敷地は現在の体育館が建つ場所を利用し、工事にあわせ駐車場と遊具、グラウンドも改修。平成23年度の入学式終了後、現在の体育館を解体し、新体育館の建設に着手。翌24年2月の完成を目指します。

なりわい

業

連載企画

を創る

「都市と農山村が互いの生活を支え合う関係」の構築を掲げ、仙台圏との交流を進める「朝日町産業創造推進機構」の取り組みを連載で紹介していきます。

11月20日～21日開催の町産業まつりで、りんごプロジェクトで起業した、あるいは起業を目指す団体による開発商品の即売会が行われます。地元での成果品の発表と来場者の皆様からの求評の場として位置付けており、各団体とも商品開発に力を注いでいます。試食もできますので、ぜひご来場ください。

集落（コミュニティ）産業のススメ

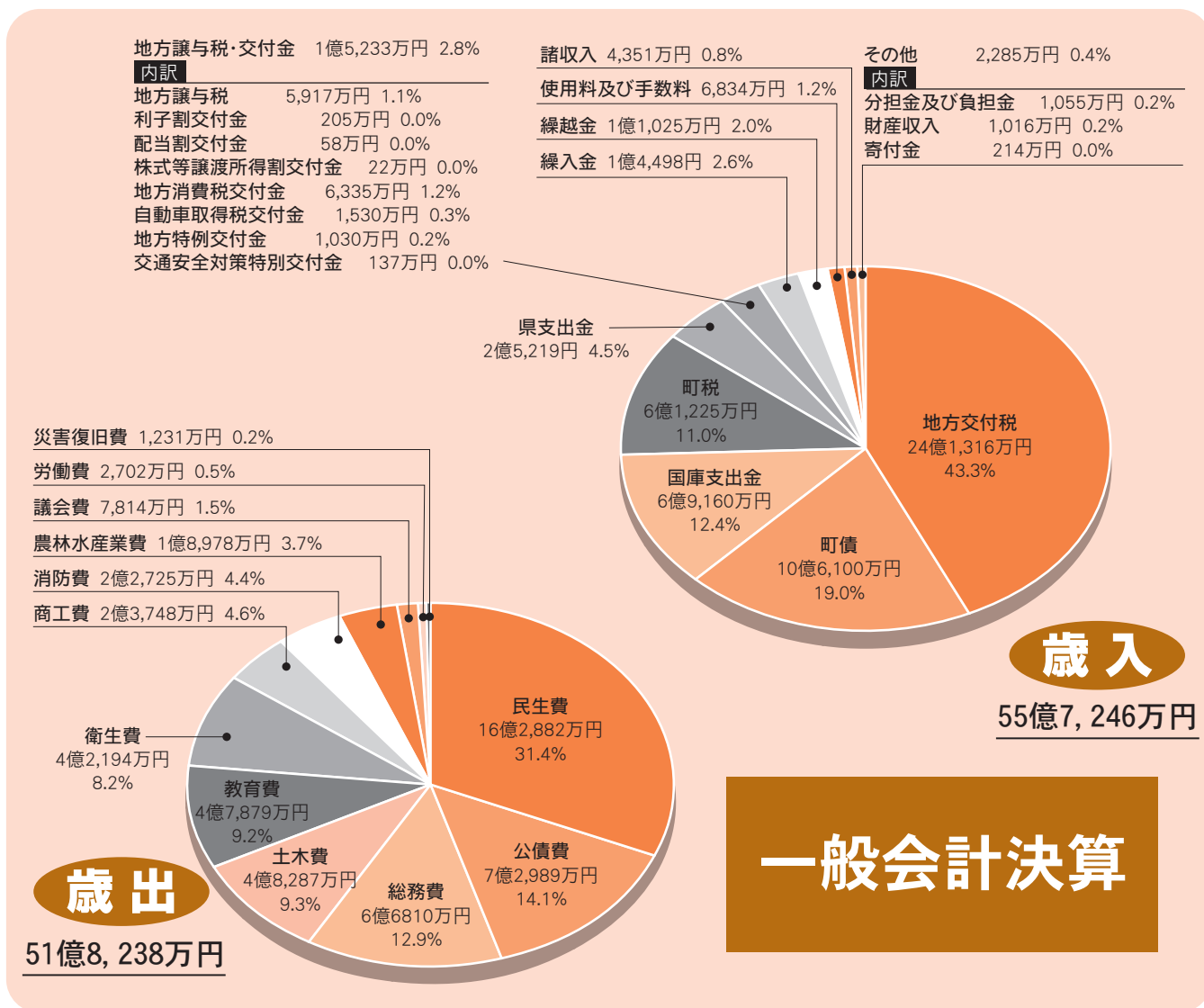
自然生態系を活用した地産の農畜産物の生産、その素材を加工した新たな商品開発により、町内に内発型の「小さな企業」と雇用の場を数多く派生させていくこと。産業力の向上を今年度の主要施策として掲げている当町にとって、起業支援と経営安定化支援は一大プロジェクトと言えます。

地元の素材にこだわり商品自体にストーリー性を持たせることで、語れる商品、力のある商品が生まれ

ます。ひいては、地産地消や在来作物の保全にもつながるほか、商品自体の機能性を高める素材も、実は町内に数多く存在しているのです。こういった身近な素材をより有効に活用できるのは、そこに住む人々の知恵や技のほかありません。集落や地域が直面する課題を、経済行為を伴う持続可能な集落（コミュニティ）産業への取り組みにより解決していくことも、実は可能なことなのです。

平成21年度 決算の概要

朝日町の平成21年度決算が、9月議会で認定されました。みなさんから納めていただいた税金や国・県からの支出金がどのように使われたのか、町の財政状況がどうなっているのか、その概要をお知らせします。この結果は、平成22年度の予算執行、平成23年度の予算編成に生かされます。



歳入歳出決算

(単位：円)

		歳入 (収入)	歳出 (支出)	差引	町債現在高	積立金現在高
一般会計		55億7,246万	51億8,238万	3億9,008万	55億170万	11億4,603万
特別会計	集落排水事業	2,769万	2,388万	381万	3,416万	2,886万
	国民健康保険	11億1,158万	9億8,620万	1億2,538万	—	1億8,870万
	老人保健	923万	864万	59万	—	—
	介護保険	8億6,292万	8億4,156万	2,136万	—	3,802万
	後期高齢者医療	8,306万	8,198万	108万	—	—
企業会計	病院事業	(収益的収支)	7億3,064万	7億2,383万	681万	6億5,760万
		(資本的収支)	2,309万	6,929万	△4,620万	
	水道事業	(収益的収支)	1億6,432万	1億3,376万	3,056万	1億8,046万
		(資本的収支)	1,066万	1億948万	△9,882万	

※病院事業・水道事業の収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしています。

※全会計とも、実質黒字または資金剰余となっています。

財政指標で見る朝日町の財政状況【☺…良い、☹…普通、☹…良くない】

		平成21年度		平成20年度		
		朝日町	県内22町村平均 (朝日町の順位)	朝日町	県内22町村平均 (朝日町の順位)	全国の類似団体 122町村の平均 (朝日町の順位)
財政力指数 (1に近い1を超えるほど余裕がある)		0.23 ☹	0.28 (高い方から14位)	0.24	0.29 (14位)	0.27 (50位)
経常収支比率 (値が小さいほど自由に使えるお金が多い)		90.1% ☹	88.6% (小さい方から13位)	94.9%	91.5% (18位)	86.8% (112位)
健全化判断比率	実質赤字比率	－% (黒字のため比率なし) ☺	－% (全町村黒字のため比率なし)	－% (黒字のため比率なし)	－% (全町村黒字のため比率なし)	
	連結実質赤字比率	－% (黒字のため比率なし) ☺	－% (全町村黒字のため比率なし)	－% (黒字のため比率なし)	－% (全町村黒字のため比率なし)	
	実質公債費比率 (小さいほど公債費負担の割合が少ない)	11.0% ☺	16.1% (小さい方から1位)	12.1%	17.1% (1位)	16.0% (19位)
	将来負担比率 (小さいほど将来の債務の割合が少ない)	48.9% ☺	100.2% (小さい方から2位)	53.8%	117.3% (2位)	71.4% (24位)

(注1) 指標は「地方財政状況調査」「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」をもとにしています。
(注2) 平成21年度は速報値（見込み）です。
(注3) 県内町村、類似団体の各種比率は、単純平均です。

【類似団体】

人口、産業構造の組み合わせが似通った町村。全国の町村を15グループに分類している。

【財政力指数】

標準的な行政活動を行う経費に、町税等の標準的な収入でどれだけ賄えるかを示す。1に近くあるいは1を超えるほど財源に余裕がある。（1を超えると普通交付税の不交付団体となる）

【経常収支比率】

経常的収入（町税、普通交付税等の毎年常に入ってくる財源）から経常的支出（人件費、公債費、扶助費等の毎年必ず支払う経費）に充てられた割合を示す。値が小さいほど自由に使える資金が多い。

【健全化判断比率】

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく、地方公共団体の財政の健全性に関する比率。基準を超えるとは財政健全化（再生）計画を策定し、財政の早期健全化及び財政の再生を図ることとなる。計画が実施されないときは、国・県から予算の変更等の勧告を受ける場合がある。

【実質赤字比率】

一般会計等に係る実質赤字額の標準財政規模（税＋交付税＋臨時財政対策債）に対する比率。「早期健全化基準15%、財政再生基準20%」

【連結実質赤字比率】

全会計に係る実質赤字額の標準財政規模に対する比率。「早期健全化基準20%、財政再生基準40%」

【実質公債費比率】

一般会計等が負担する公債費（借金の返済）等に充てた一般財源の、標準財政規模に対する比率。この値が大きいほど、公債費の割合が高く、財政を圧迫していることとなる。18%を超えると町債の発行に県の許可が必要となる。

「早期健全化基準25%、財政再生基準35%」

【将来負担比率】

一般会計等が将来負担すべき債務（借金等）の標準財政規模に対する比率。この比率が高い場合、将来これらの負担額を実際に支払う必要があることから、今後の財政運営が圧迫されるなどの問題が生じる可能性が高いことを示す。「早期健全化基準350%」

【朝日町の状況、および今後の取り組み】

朝日町の健全化判断比率は、早期健全化基準を大きく下回り、県内町村の中でトップクラスの「健全段階」となり、これまで、財政の健全運営に努めてきた結果が反映されたものとなっています。

しかし、財政状況を考えているときは、他の財政指標等も合わせて考える必要があります。朝日町は、特に財政力指数、経常収支比率が良くありません。これまで人件費・公債費等の経常経費の削減に努めて来ましたが、少子高齢化・定住対策に要する経費の増加、更には、景気低迷による町税や地方交付税の減少により、今後とも厳しい財政運営となる見込です。

持続可能な財政運営を行うため、引き続き、財政の健全性を保つよう努める必要があります。

まちの話題

「ホームページに写真」の表記があるものについては、町ホームページの「まちの写真館」コーナーで、多くの写真を紹介しています。ぜひご覧ください。



2010 日本エコミュージアム研究会全国大会（10月23日～24日／創遊館ほか）



カヌーランドを見学する全国大会の参加者

目の会場となった当町。最初に創遊館で過去20年間における町協会の取組みが紹介されたあと、参加者は「樺平の棚田」や「カヌーランド」、「大沼の浮島」など町内の見どころを見学。現地では町エコミュージアム案内人の会スタッフが魅力を説明し、理解を深めました。

翌24日には、常盤地内で写真店を営んでいた故阿部幸作氏が撮影した8mmフィルムをまとめた映写会が西部公民館を会場に開催。地元の方々を中心に約200人が訪れ、昭和年代の映像に昔を懐かしんでいました。

満員の会場を目にした全国大会の参加者は「エコミュージアム活動が地域に根付いていると感じます。見習いたいですね」と感想を述べていました。

地域に根付いた活動を全国各地に発信

10月23、24日の両日、2010日本エコミュージアム研究会全国大会が当町を会場に開催され、全国各

地の大学や自治体関係者など約100人が参加しました。

1997年の第1回大会以来、2度



創作おにぎりコンテスト

豊玉姫まつり「収穫感謝祭」（10月31日／蔵のひろば）

収穫の秋にちなんだ様々な催しを楽しむ

「豊玉姫まつり」の収穫祈願祭が10月31日、開催されました。

このまつりは農耕の神様「豊玉姫」が祀られている豊龍神社の門前町・宮宿地内に、往時の賑やかさを取り戻そうと、宮宿中央通り商業振興会（鈴木徳博会長）が中心となって企画したもの。3回目となる今年は、8月にオープンしたての「蔵のひろば」を会場にして行われ、りんごの

加工品などをはじめとした町内物産品コーナーが並んだほか、創作おにぎりコンテストや宮宿小学校豊年太鼓、津軽三味線などのアトラクションが披露され、町内外から約800人が訪れました。

この日は会場前の県道を歩行者天国として開放。地面のキャンバスに描かれた子どもたちの絵がまつりの雰囲気盛り上げました。

りんごの樹オーナー制収穫祈願祭 (10月23日／秋葉山交遊館ほか)

収穫前の「玉返し」作業を終え、団らん

一口5万円でりんごの木（ふじ）丸ごと1本のオーナーになれる「りんごの樹オーナー制」の収穫祈願祭が10月23日開催されました。

今回はオーナー登録者63人のうち34人とその家族など102人が参加。午前中に栗木沢、和合地内の各園地で収穫前の最後の作業となる「玉返し」などを行ったあと、収穫祈願祭のため秋葉山交遊館に場所を移動。

参加者は青空の下、地元産ワインやりんごジュース、そして収穫を祈願する杵つき餅などで朝日町の秋を味わったほか、りんごの皮むき競争などのアトラクションを楽しみました。

家族や仲間と参加した千野武雄さん（山形市）は「朝日町のりんごを初めて味わった時の感動は未だに忘れられません。今後も毎年参加させていただきます」と話していました。



ペットボトルキャップを手渡す生徒会の役員



座り心地を確かめたお年寄りと会話を交わす生徒会役員

朝日中学生徒会がボランティア活動の成果を形に

(10月21日／山形銀行宮宿支店、22日／グループホームあさひ)

ペットボトルキャップでワクチン、アルミ缶で車いす

このほど朝日中学生徒会ではボランティア活動で集めたペットボトルキャップをまとめ、10月21日山形銀行宮宿支店を通じて、NPO法人「エコキャップ推進協会」に送りました。

同協会では、ペットボトルキャップを収集し、そのリサイクルによる収益金で発展途上国の子どもたちにポリオワクチンを届ける運動を行っています。山形銀行は社会貢献事業

として収集をサポートし、この運動を支援しています。生徒会で収集したのは3万個ですが、800個で一人分(20円)になることから、37人分のワクチンを送ったことになります。

また、翌22日にはグループホームあさひを訪れ、アルミ缶とプルタブ収集で得た利益から購入した車いすを贈呈。さっそく座り心地を確かめたお年寄りとは話を交わしました。

第46回朝日町芸術文化祭 (11月2～3日／創遊館ほか)

様々な発表・展示を通じ芸術の秋を堪能

「みがき 築こう われらの文化」をテーマに、第46回目を数える朝日町芸術文化祭が11月2日から2日間の日程で創遊館・西部公民館・北部公民館、大谷第五公民館（移動芸能発表）を会場に開催されました。

今年度、町芸術文化協議会に加盟しているのは、37団体、3個人で、会員総数は397人。芸術文化祭は日頃磨き上げてきた活動の成果を披

露する場として毎年開催されているもので、今年も様々な部門で行われた発表・展示を通じて、多くの町民が芸術の秋を堪能しました。

式典の中では、阿部勲さん（西町／朝日盆栽園芸愛好会）と尾崎紘山さん（山形市／紘泉書道会）に「あさひ芸術文化功労賞」が、貞神りんさん（宿／文芸「たむしば」）に「同文化奨励賞」が贈られました。



10月16日、飯豊町で行われた第39回県中学校新人バスケットボール県南ブロック大会で、朝日中女子バスケット部（今野希部長／部員数10人）が5年ぶりに優勝を果たしました。

部員全員が身長160センチ以下、平均身長152cm。台は出場12チーム中最小…。そんな条件下で次々に強豪を撃破していった「小兵」の朝日中。南北ブロック大会の上位4チームで争われる決勝大会（11月13日／山形市）を前に、強さの秘訣などを伺いました。



全員が身長160cm以下 最小チームが県南大会を制す 朝日中女子バスケットボール部（今野希^{かなう}部長）

―優勝おめでとうございませす。率直な感想は？

「ありがとうございます。決勝大会出場が目標でしたので、達成できて何よりです」

―全員が身長160センチ以下と聞きましたか…

「その通りです。バスケットは身長の高い選手が有利なスポーツですが、私たちはとにかく相手よりも走ることで身長のハンデを補っていました」

―どの試合が一番印象に残っていますか？

「あえて挙げるとすれば、県南大会よりも、地区大会の陵南戦ですね。最終的に1点差で勝利したゲームですが、相手は小さい私たちに對し、徹底的にゴール下を固めてきました。外からのシュートが鍵になりましたが、要所要所で決めること

ができ、何とか振り切ることができました。」

陵南はレギュラー5人のうち一年生が4人。全員が2年生の私たちとしては、年長者としての意地もありましたね（笑）」

―毎日さぞ厳しい練習を積んでいるんでしょうね。

「どのチームよりも走ること、求められる私たちにとっては、スタミナが第一。そのため、今年の夏休みはグラウンドを5キロ以上走ってから体育館での練習に臨みました。毎日暑くて大変でしたが、勝つために必要なことをみんなが自覚しています。苦しい時は励まし合って乗り切りました」

―練習の厳しさの半面、皆さんの表情はとも楽しそうに見えますが…

「バスケットが大好きなのはもちろんですが、努めて練習を

楽しむように心がけています。女子バスケット部だけで体育館を使えるときは大好きな『嵐』の音楽をかけて気分を盛り上げています」

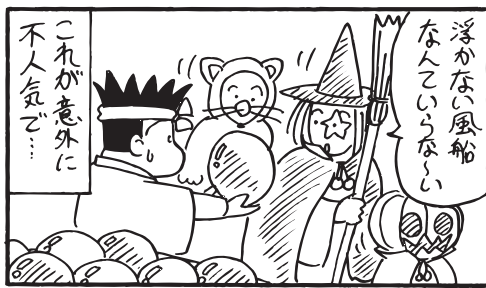
―11月13日の決勝大会での健闘をお祈りします。

「ありがとうございます。どのチームより走り勝ち、優勝目指して頑張ります」

▼菅井耕一女子バスケット部監督の話

「ウチの選手は、身長が低い分ゴール下では劣勢ですが、外からのシュートは高い決定率を誇ります。混戦の中、3ポイントシュートを決めることは、ボディブローのように相手に効くんです。」

どんな競技にも共通するかもしれませんが、小さな選手が大きな選手に挑む姿は目を引きます。ウチのチームは他校から声援をいただくことも多く、実はちよつとした人気者なんです（笑）」



観光協会だより
旅の窓口

by 町観光協会
観光振興推進員
亀井秀介



あさひ旅のココロ館がオープンして早3カ月。町内外からたくさんのお客様が訪れています。お客様にリラックスして楽しんでいただくため、私たちも積極的にお声掛けするよう心がけています。

「どちらからですか?」とたずねると、「〇〇市からです。でも朝日町の出身なんですよ」という方が多いこと!「テレビや新聞で紹介されているのを見て、つい懐かしくなって…」「もう家もないんだけど、なぜか足が向くんだよね…」など、ほとんどの方が昔の朝日町の様子や思い出話などをうれしそうにお話になります。離れたとはいえ、皆さん故郷に対する愛情はずっと持っていていらっしゃるんですね。旅のココロ館はそんな町出身の方々のココロが集う場所でもあるんです。

私たちの役割はそのお客様方を次にご案内すること。朝日町の今、そして昔から変わらない「あたたかいココロ」を伝えていかなければなりませんね。

「今住んでいるのは〇〇市。でも朝日町出身…」
旅のココロ館は町出身者のココロが集う場所

一各種大会の成績一

■第18回県少年少女スポーツ交流大会

▼剣道競技 (10月3日/寒河江市)

ブロック1位 宮宿剣道スポ少 ※決勝トーナメントは無し

▼卓球競技 (10月11日/河北町)

女子の部 ブロック1位、決勝トーナメント2位 朝日卓球スポ少

■山形県中学校新人総合体育大会県南ブロック大会 (10月16日/各会場 ※掲載者はすべて決勝大会出場)

優勝 バスケットボール女子

準優勝 剣道女子団体

3位 剣道男子団体

剣道男子個人 菅井 蓮

剣道女子個人 鈴木翔子

5位 剣道女子個人 阿部真琴

■西村山地区中学校秋季ロードレース大会 (10月17日/寒河江市)

▼学校対抗女子の部 3位 朝日中

▼個人 4位 白田恵里華

7位 安藤絵里香

過去最高の県大会準優勝 一朝日卓球スポ少一



10月11日河北町で行われた「第18回山形県少年少女スポーツ交流大会」の卓球競技(女子)で朝日卓球スポーツ少年団が過去最高となる準優勝を果たしました。予選リーグ2試合をともに3対2の接戦で勝って勢いに乗り、準決勝も3対1で勝利。決勝戦では惜しくも敗れたものの、堂々の準優勝。6年生の阿部奈於さん(常盤)と長岡真緒さん(同)は「ここまで勝てるとは思いませんでした。またいい結果を残せるようにがんばります」と話してくれました。

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、質問、提案などお待ちしております。
なお、無記名での投書に対しては、事実関係の確認が難しく、
回答できない場合もありますので、ご了承ください。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)

■メール／inform@town.asahi.yamagata.jp

町民の

声

ワインと生ハムは相性抜群 両者を一緒に販売してはいかが

問

私はよく、朝日町ワインの売店「ワイン城」と、食肉製品の加工販売を手掛ける「ロイフェン」を利用しますが、ワインとハム類を一緒に購入することができたらいいなあと思うっています。

そこで、ワイン城内の一角にロイフェンコーナーを設置するなどして、ワインとハム類を組み合わせ販売してみたいかがでしょうか。現在、サラミ類はありますが、それに生ハムなどが加われば、さらに良いと思います。

答

貴重なご提言、ありがとうございます。
とうございます。

今回の提言について、さっそく両者に話をさせていたいただいたところ、「町民の方からこのようなご提言があったことは大変うれしく思います。お



ハム、ソーセージなどの
「ロイフェン」の商品
(調理の一例です)

互い前向きに検討します」との回答をいただきました。

このほど宮宿商店街にオープンした「カフェ蔵」では、地元の農産物や加工品を活用した食を提供しています。町では、このように農産物や加工品を他業種で活用し、互いに活性化していくための農家や商店・企業等が連携する仕組みづくりを行っていくことが重要だと考えています。

これからお気づきの点がありましたらご意見・ご提言をよろしく願います。

【産業振興課】

「米作り」と「地域づくり」

「常盤楯山を整備する会」
故郷を愛する人々の思い

町長歳時記
(60)

「寒くないか」「調子はどうだ」毎日田んぼに通い、稲に向かって声をかける。「暑くないか」「こ苦労さん」そして実りの秋。「よくがんばってくれました」「こ苦労さん」「ありがとう」一本一本手にとって、一粒一粒手に触れて、稲とふれあい語る姿。それは本当の会話でした。稲と語る。愛おしいほどの思いを寄せて語る姿は、まるで成長した我が子を抱きしめる親の眼差しそのものでした。「一生懸命に稲と向き合えば、稲もそれに応えてくれる」米作り名人宮城県登米市在住石井稔氏の言葉です。

山公園に、自分の子どもたちと一緒に登って、私たちの故郷『常盤』を子どもたちにも見てもらい、しっかりと自分の故郷を自分の目と心に焼き付けてもらいたいんです。大人になって、たとえ故郷を離れたとしても、自分の故郷の姿、風景をいつも心に抱きつづけることができる、そんな人間になってもらうため、私たちは頑張っているんです」この言葉を聞いた時私は感動で一杯になりました。その思いがまさに地域全体の思いとなつて、この三年間延べ八百人のボランティア活動として現在もお続く「楯山整備」。この故郷を愛する思いと頑張りに、心から拍手を送り感謝を申し上げます。

「米作り」そして「地域づくり」深い愛情が支えとなった二つの話に私は深く相通じるものが感じられてなりませんでした。

朝日町長 鈴木浩幸



■平成22年(2010年)
10月1日～10月31日届出



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
西船渡	宮 本 大 地	男	哲朗・みづえ
本 町	鈴木 陽 斗	男	健一・奈津子
西 町	岡 崎 蒼 史	男	和也・亜美
新 宿	成 原 莉 瑚	女	哲也・恵美



おしあわせに

阿 部 正 継 (常 盤)	佐 東 麻 衣 (中山町)
内 藤 誠 (東京都)	佐 竹 里佳子 (八ッ沼)
村 上 翔 (天童市)	遠 藤 南 (栗木沢)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
小 原	佐 藤 重 洋	重 好
大船木	武 田 文 野	貢
夏 草	齊 藤 浩 美	利 八
松 程	鈴 木 千代江	佐 七
大谷二	白 田 義 徳	本 人
常 盤	長 岡 武 夫	う め
新 宿	高 田 ヨ シ	藤 男
緑 町	渡 邊 貞 子	義 一

掲載を希望しない方は
届け出の際にお申し付けください

人口と世帯数

●平成22年10月31日現在

人 口	8, 0 8 3 人 (- 9)
男	4, 0 0 8 人 (- 1)
女	4, 0 7 5 人 (- 8)
世帯数	2, 5 2 1 世帯 (- 1)

()内 前月比

----- 10月中の異動 -----

出 生	4 人	転 入	1 0 人
死 亡	8 人	転 出	1 6 人

平成 22 年度朝日町総合防災訓練



10月24日、朝日町総合防災訓練が開催されました。

これは、防災に対する理解や意識の高揚を目的に毎年開催されているもので、今年は新宿(緑町)地区が主会場。第1分団第2部管内の地区民のほか消防団員など約200人が参加し、各種災害を想定した様々な訓練が行われました。

☞ ホームページに写真

平成 22 年度 (第 23 回) 新宿区文化祭



10月30日から31日にかけて、新宿区文化祭が同区公民館を会場に開催されました。

地区単位で文化祭を行っていること自体珍しいことに加え、今年で23回目を迎える伝統的文化祭。子どもからお年寄りまで幅広い年代の作品が展示されたほか、茶席も用意され、たくさんの人でにぎわいました。

マーティ先生のハロウィンパーティー



A L Tマーティ先生が主催するハロウィンパーティーが11月6日、開発センターで開催されました。

毎年子どもたちに大人気のイベント。魔女や海賊などの衣装に身を包んだ100人の子供たちは、欧米色に彩られた異国情緒漂う会場の中で様々なゲームを楽しみ、たくさんのお菓子を手に入っていました。

郵便局長会がふれあい荘に車いすを贈呈



山形県北部地区郵便局長会の西村山部会(会長:布施義章寒河江島郵便局長)の方々が11月6日ふれあい荘を訪れ、会員の積立金で購入した車いす1台を贈呈するとともに、ガラス磨きなど作業を行いました。

毎年公益事業として西村山地区内で様々な奉仕活動を行っている同部会。この日は会員とその家族約30人が2時間の作業に汗を流しました。

ご存知ですか? 朝日町にもサケが遡上することを



この写真は10月19日の朝、町民の方からの知らせを受けてうかがった太郎地区内の朝日川で撮影したものです。

この日確認できたのは4匹でしたが、よく見るとどれも全身傷だらけ。この場所にたどり着くまでの長くて険しい道のりを物語っているようでした。

☞ ホームページに動画、写真



今月のおすすめスポット

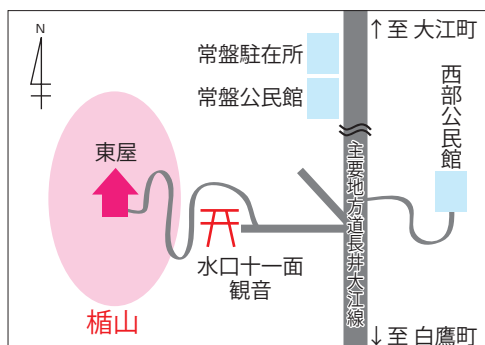
ときわたてやま 「常盤橋山」からの眺望

常盤地区の有志で組織する「常盤橋山を整備する会（佐竹昇会長）」では、このほど地区内にある里山（通称：橋山）の木々を伐採するとともに東屋を建て、展望台として整備しました。

展望台がある橋山は水口十一面観音堂の裏手に位置し、標高はおよそ220m。古くは「水口橋」と呼ばれ、戦国時代には八ツ沼城を守る砦の一つとして重要な役割を担っていました。斜面を削って作られた6層の曲輪（^{くるわ}平らな場所）や3本の空堀は今もはっきりと確認することができ、当時の様子を偲ばせています。

「地区の人口が減っていく中、身近にある歴史的な遺産に目を向け、地域おこしに結びつけたい…」こう話すのは同会の佐竹会長。「2年前から少しずつ整備してきましたが、今回東屋が完成し、ようやく一段落しました。3年間でかかわっていただいた方は延べ800人以上。末永く皆さんに愛される場所になっていただければ幸いです」と続けました。

☞ ホームページに写真



東屋の完成を祝い、手を合わせる会のメンバー（10月31日）

春夏秋冬 編集後記

町のPRにも一役？
一冊の本との出会い

特集で紹介した最上一平さんの言葉の中に「自分の好きな本を一冊見つけてほしい」という一言がありました。

よく「一冊の本との出会いが人の生き方を変える」と言いますが、私の場合、最近では「天地人」との出会いがそう。ブームに乗せられたものとはいえ、これがきっかけで戦国時代に興味を持つようになったほか、郷土史にも目を向けるようになりました。

昨年の広報8月号では戦国時代、直江兼続が朝日連峰に開削し

た「朝日軍道」を特集。取材として朝日岳に登らせていただき、軍道跡を写真に収めましたが、その様子を掲載した町ホームページに関する問合せがその後相次ぎ、雑誌や書籍にも写真を使っていたきました。

もちろんそのすべてに表記してあるのは「朝日町政策推進課提供」の一文。本との出会いは私的なものでしたが、結果的に少しでも町のPRにも役立っています。

佐久間 淳